

# 舟山

発行者  
幸田町立南部中学校  
池田 和博  
第113号

## 修学旅行に行ってきました。



移動中のバスの中

三年生は、十一月一日から二日までの三日間、山梨・静岡方面に修学旅行に行ってきました。新型コロナウイルスの感染状況も落ち着き、二度の延期を経て、ようやく出発することができました。

修学旅行中は、好天に恵まれ、富士山を毎日きれいに见ることができました。多くの方々と出会い、様々な体験をして、たくさんのお出立ちとともに、大きく成長して帰ってきました。今後の生活に、きつと生かしていくことでしょう。



富士山を背景に記念写真

### 人との関わり

三年 小林 壮太

修学旅行をふり返ってみると、色々なところで思うことがありました。

一つ目は、仲間の良いところをたくさん見られたことです。時間を見て行動できていたところや、一人でいる人に近づいていき、声をかけ仲間に入れていた様子を目にしました。

二つ目は、ペンションのオーナーさんの話です。「ないものを求めずに、今あることに全力で取り組むこと」という言葉から、ないものを求めず、何かを出せることに感謝をして、取り組んでいこうと思えました。

### 成長を感じた修学旅行

三年 古川 愛乃

私たち三年生は、十一月十日から十二日の三日間、静岡・山梨へ修学旅行に行ってきました。

その中で、成長を感じることがあります。それは、あいさつや返事です。ペンションの方にあいさつや返事をしたときに、気持ちがいいねと褒めていただきました。普段の生活で、当たり前だと感じていたことも、いざ社会に出てみると、当たり前のことが当たり前でできる人と、できない人では、印象も変わってくると思います。南部中学校の代表として、当たり前のことが当たり前でできたのは、自分にとつて成長だと思いました。

中学校生活も残り少なくなりました。これからは修学旅行で学んだことも含め、さらに成長していけるようにしたいです。



学級別活動でのアトラクション

### 人との接し方

一年 鈴木 翔也

今年度受けた福祉実践教室には、手話・点字・認知症理解の三つの講座がありました。中でも私は、認知症理解が一番心に残りました。初め、認知症はどのような状態になってしまうかわかりませんが、認知症は脳の病気であること、頭を傷つけたり、脳が縮んでしまったりすることで起きるものであると知りました。記憶が途切れ途切れで、忘れてくても忘れてしまっているわけではないので、いつでも優しく、温かい目で見守ることが大切だと感じました。

今回の講座で学んだことを障がいをもった方たちだけではなく、すべての人との接し方に生かすとともに、相手を気遣う思いやりをもった行動をより一層改めて、生活していきたいです。



福祉実践教室の手話講座

生き方講演会を終えて

二年 岩瀬 柚月

二年生の総合学習で第三回生き方講座がありました。四つの講座のうち、私は、幸田駅前書店の店長である藤城博基様の講座を受けました。そのお話の中で印象に残った言葉がありました。「自分をダイヤモンドだと思え」という言葉です。その言葉を聞いたとき、とても驚きました。自分には好きなことや得意なこともあるけど、自分に自信をもつことはありませんでした。藤城さんは、「何年後かの理想の自分を想像することが大切」ともおっしゃっていました。藤城さんのお話を聞いて、自分に自信をもち、「自分は最高だ！」と思いながら生活できるようにしていきたいと思いました。私も本が好きなので、本が関係する道に進むのもおもしろそうだなとも思いました。



幸田駅前書店の藤城さんによる生き方講座

本気の積み重ね

二年 松岡 英奈

私は、生き方講座でたくさんの方の話を聞いて、自分のやりたいことに挑戦することの大切さ、小さなことをやり続ける大事さを学びました。特に心に残った言葉は、「やったことで成長した自分がある。結果だけじゃない。」という言葉です。どうしても勝負ことになる勝負が負けがついてしまい、そちらに目が行きがちです。でも、結果も大事だけどそれ以上に積み重ねてきた過程が大事だと再確認できました。そして、移動中にさせていただいた話でも心が軽くなりました。部活動では、新チームになって上手くいかないことが多かったけれど、まずは目標を決め、心を一つにしたいと思います。いつか私たちの活躍が伝えわるように頑張りたいと思います。



金田さんと一緒に

訓練で学んだこと

一年 井手 光明

不審者対応訓練では、恐怖やあせりの状況を経験することができました。あとで見たビデオでは先輩たちがとても素早く逃げていて、自分たちも同じようにできるといいと感じました。不審者が来たときわかったときは、すぐに周りの人に「逃げて」「不審者がいる」など状況を具体的に伝えること、その不審者の特徴を見っておくことが大事だとわかりました。また日頃から地域の人たちにあいさつすることも防犯につながると教えてもらったので、これからはより意識してあいさつしようと思います。実際は慌ててパニックになってしまいかもできません。しかし、少しでも冷静に行動ができるようにして、身を守ることを日頃から考えていきたいです。



侵入者に対応する職員

新人戦を終えて

二年 小田 菜摘

卓球部女子の目標は「チームで戦うという意識で最後まで諦めずにやりぬくこと」です。練習から一つ一つのプレーを大切に、仲間とできていないところを教え合って、新人戦に臨みました。新人戦では、全員が仲間のために戦い抜くという思いをもち、全力でやり切ることができました。試合に出ている子も応援の拍手や声かけで励まし、チーム一丸となって戦うことができたので優勝することができました。新人戦を通して、仲間のためにやり切るという思いが高まりました。しかし、それぞれ課題も出てきたので、練習をしていく中で教え合いながらできるようにして、技術をさらに伸ばしていきたいです。これからも、卓球部女子の仲間とともに頑張っていきます。

幸田町中学校新人体育大会の結果

○団体の部

第一位 卓球部 (男子)

卓球部 (女子)

○個人の部

優勝 岩瀬 由奈 (卓球女子)

第二位 竹内 遥馬 (卓球男子)

武田 良成

(剣道男子低学年の部)